

2023年度 JMO 事業報告

公益財団法人 数学オリンピック財団

< 1 > 国内大会の取り組み

1. JMO 予選の実施

(1) 予選の実施方法と結果

- ・応募受付期間：9月1日～10月31日
- ・試験：2024年1月8日(成人の日)に、全国73会場で実施した。
応募者数は5,092名(昨年より112名増)で、当日は4,611名の生徒が参加し、13時から16時の3時間で12問の問題に挑戦した。
- ・結果：受験者のうち、137名がJMO本選に進む予定となった。そのうち、中学生は15名。

(2) 参加者4,611名の在籍校種・学年の内訳

学校：高校736校、中学校66校、小学校1校

学年：高校3年32名、高校2年2,434名、高校1年2,013名(高校生計4,479名)

中学3年90名、中学2年25名、中学1年8名(中学生計123名)

小学生1名、その他8名 <男3,865名、女746名>

(3) 地区表彰の実施

16地区で、本選受験有資格者と合わせて応募者の1割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。

なお、地区表彰者は401名であった。

(4) その他

8月には、募集要項と財団通信を全国の過去3年間応募があった高等学校・中等教育学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と高校生用教材「math OLYMPIAN」を送付した。

2. JJMO 予選の実施

(1) 予選の実施方法と結果

- ・応募受付期間：9月1日～10月31日
- ・試験：2024年1月8日(成人の日)に、オンラインにて実施した。
応募者数は3,066名(昨年より372名増)で、当日は2,891名の生徒が参加し、13時から16時の3時間で12問の問題に挑戦した。
- ・結果：受験者のうち、71名がJJMO本選に進む予定となった。なお、小学生は1名であった。

(2) 参加者2,891名の在籍校種・学年の内訳

学校：中学校397校、小学校25校

学年：中学3年1,235名、中学2年870名、中学1年758名(中学生計2,863名)

小学生28名 <男2,316名、女575名>

(3) 地区表彰の実施

15 地区（JMO は 16 地区）で、本選受験有資格者と合わせて応募者の 1 割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。なお、地区表彰者は 328 名であった。

(4) その他

8 月には、募集要項と財団通信を全国の過去 3 年間応募があった中学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10 月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と中学生用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」を送付した。

3. JMO 本選の実施

(1) 本選の実施方法と結果 () は女子の人数で内数

2024 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 11 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、愛媛、高知、福岡、鹿児島）で実施した。当日は、本選受験有資格者 137 名のうち、136 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、25 (1)名で、このうち高校 3 年生以上を除く 24 名が代表選考合宿の参加予定者となった。

(2) 本選参加生徒の学年別人数 () は女子の人数で内数

高校 3 年 6 (0)名、高校 2 年 60 (3)名、高校 1 年 54 (1)名、その他 1 (0)名、
中学 3 年 12 (0)名、中学 2 年 3 (1)名、中学 1 年 1 (0)名。

4. JJMO 本選の実施

(1) 本選の実施方法と結果 () は女子の人数で内数

2024 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 7 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡）で実施した。当日は、予選合格者 71 名のうち 69 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、11 (0)名で、このうち上位 5 (0)名が代表選考合宿の参加予定者となった。

(2) 本選参加生徒の学年別人数 () は女子の人数で内数

中学 3 年 26 (0)名、中学 2 年 34 (2)名、中学 1 年 8 (0)名、小学生 1 (0)名

5. EGMO2024 ジョージア大会に向けた国内選抜

(1) EGMO 一次選抜実施方法と結果

- ・応募受付期間：9 月 1 日～9 月 30 日
- ・試験：11 月 19 日（日）に、全国 3 会場（東京、大阪、福岡）で実施した。応募者 107 名中、89 名が参加し、13 時～17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。
- ・結果：受験者のうち 10 名が合格となり、2024 年 1 月 8 日に実施する JMO の予選の結果と合わせて、日本代表選手を選抜することになった。

(2) JMO 予選における結果と EGMO 日本代表の選抜

当日は、合格者 10 名全員が JMO 予選に参加した。

JMO 予選結果と EGMO 一次選抜の結果を基に、EGMO2023 スロベニア大会の日本代表 4 名を選抜した。

< 2 > 国際大会への取組と結果

1. 第 64 回 IMO2023 日本大会関係

(1) 事前指導

IMO 日本代表選手 6 名（高校 3 年 5 名、高校 2 年 1 名）に対して、4 月から 6 月の間に 4 回の通信添削指導を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で直前学習会は実施しなかった。

①実施体制：理事長の指揮のもとに、JCIMO 委員会指名チューターが中心となって、出題者、添削者等を決定した。

②取組内容

- ・強化合宿を 5 月 3 日～5 日、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施した。
- ・通信教育については、9 名のチューターが、問題の作成・添削等を行い、指導に当たった。

(2) IMO2023 日本大会（7/3～7/12）の結果

役員 6 名、選手 6 名（高校 3 年 5 名、高校 2 年 1 名：全員男子）が参加し、金メダル 2、銀メダル 3、銅メダル 1 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者数は 314 名で、金メダル 54、銀メダル 90、銅メダル 170 であった。国別成績では、日本は 112 ヶ国・地域中、第 6 位であった。

2. 第 12 回 EGMO2023 スロベニア大会関係

役員 3 名、選手 4 名（高校 3 年：3 名、高校 2 年：1 名）が参加し、金メダル 1、銅メダル 3 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者は 161 名で、金メダル 26、銀メダル 36、銅メダル 57、優秀賞 42 であった。国別成績では、日本は 56 ヶ国・地域中、第 21 位であった。

3. 第 13 回 EGMO2024 ジョージア大会日本代表選手に対する事前指導

2024 年 2 月と 3 月に通信添削指導を行った。加えて、3 月 27 日（水）から 3 月 29 日（金）にホテルコンチネンタル府中において、強化合宿を行った。

（参考）第 13 回 EGMO2024 ジョージア大会は、2024 年 4 月 11 日～4 月 17 日に現地へ参加

4. APMO（第 36 回 APMO 第 20 回国内大会）関係

第 36 回 APMO は、2024 年 3 月、太平洋を挟んで西側各国は 3 月 12 日（第 2 火曜日）、東側の各国はその前日に、同時にコンテストを 4 時間で実施した。日本では、第 20 回 APMO 国内大会として 3 月 12 日に東京、大阪の 2 会場で開催し、JMO・JJMO 本選合格者で、JMO については高校 3 年生を除く受賞者、JJMO については代表選考合宿参加有資格者、合わせて 29 名が参加した。

その結果、上位 10 名が第 36 回 APMO の代表者に選抜された。第 36 回 APMO の結果は、5 月末から 6 月初旬頃に確定する予定である。

< 3 > 研究・育成事業、その他

1. 夏季セミナー

2023年度は、山梨県・清里高原（ヴィラ千ヶ滝）で、生徒20名、チューター20名で実施した。

2. 問題調整会議の実施

問題調整会議を、9月～11月の毎週末に11回実施した。

3. 代表選考合宿、及び表彰式

2024年3月21日（木）～25日（月）にホテルコンチネンタル府中で実施した。

(1) 合宿参加生徒：27名（男子27名、女子0名）

構成：高校2年10名、高校1年9名、中学3年3名、中学2年2名、中学1年1名、小学生1名、その他（在籍なし）1名

(2) 実施体制

理事長の指揮の下、チューター20名が監督指導にあたった。

(3) 実施内容

IMO コンテスト本番と同じ形式の試験4回（各回4時間半・3問の記述式問題）を実施した。

(4) 表彰式

JMOの表彰式は、2024年3月21日（木）にホテルコンチネンタル府中で実施した。代表選考合宿参加者と財団関係者のみで、代表選考合宿初日の3月21日に開校式と合わせて実施した。JMOの優勝者、金賞、銀賞、銅賞の受賞者には、藤田理事長から賞状を、IMOメダリストからメダルを授与した。他の成績優秀者には、藤田理事長から賞状を、IMOメダリストから楯を授与した。表彰式欠席の受賞者については賞状ならびにメダル自宅へ送付した。

JJMOの表彰式は、金賞、銀賞、銅賞の受賞者には、藤田理事長から賞状を、IMOメダリストからメダルを授与した。表彰式欠席の受賞者については賞状ならびにメダルを自宅へ送付した。

4. 機関誌・新教材の発行

(1) 財団通信：No.65 (5/15)、No.66 (9/15)

No.65では国内大会並びにEGMOの結果を、No.66では国際大会の結果を中心にそれぞれ27,700部、25,000部を作成し、8月に過去3年間応募のあったJMO応募校988校、JJMO応募校（中学校511校）に送付した。更に、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の一斉発送により、8月に全国の中学校506校、小学校43校、教育委員会関係387ヶ所等に配布してPRに務めた。

(2) 先進的科学技術学習用カリキュラム新教材の発行（年1回発行）

① JMO用教材「math OLYMPIAN」 No.71 (10月) 5,300部

② JJMO用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」 No.46 (10月) 3,200部

を発行し応募者全員に配布した。

5. 役員会等の実施

(1) 理事会・評議員会

- ① 2023年5月15日(日) Zoomを利用した第1回理事会：10時30分～13時00分
＜内容＞ 2022年度事業報告、収支決算報告、国際大会の結果等
- ② 2023年6月5日(日) Zoomを利用した定時評議員会：13時30分～14時45分
＜内容＞ 2022年度事業報告・収支決算報告、国際大会の結果、IMO2023日本大会実行委員会報告、新理事の承認、理事長の承認、定款の改定
- ③ 2023年6月5日(日) Zoomを利用した第2回理事会：15時30分～16時40分
＜内容＞ 新理事長、新専務理事、新常務理事の選出、IMO2023国際大会積立資産
- ④ 2024年3月5日(日) 第3回理事会：13時30分～15時40分
＜内容＞ JMO各種行事の結果、2024年度事業計画・収支予算、JCIMO委員の選出
- ⑤ 2024年3月5日(日) 臨時評議員会：15時40分～16時50分
＜内容＞ JMO各種行事の結果、2024年度事業計画・収支予算

(2) JCIMO

- ① 2023年4月2日(日) Zoomを利用した第1回JCIMO：13時30分～14時40分
＜内容＞ IMOノルウェー大会日本代表選手・代表団の決定、チューター決定等
- ② 2024年1月22日(日) Zoomを利用した第2回JCIMO：13時30分～15時00分
＜内容＞ EGMOスロベニア大会日本代表選手・代表団の決定、JMO・JJMO予選、本選およびEGMOの一次選抜試験の日程見直しの検討など

6. その他

(1) ポスター(2024年用)の作成

JMO用：A3版12,300部、A4版10,500部

JJMO用：A3版1,670部、A4版15,000部

(2) パンフレットの作成

2024年版を、PR用として200部を発注した。(納品は、2024年4月15日)